

航空レーザー測量製品仕様書
応用スキーマ

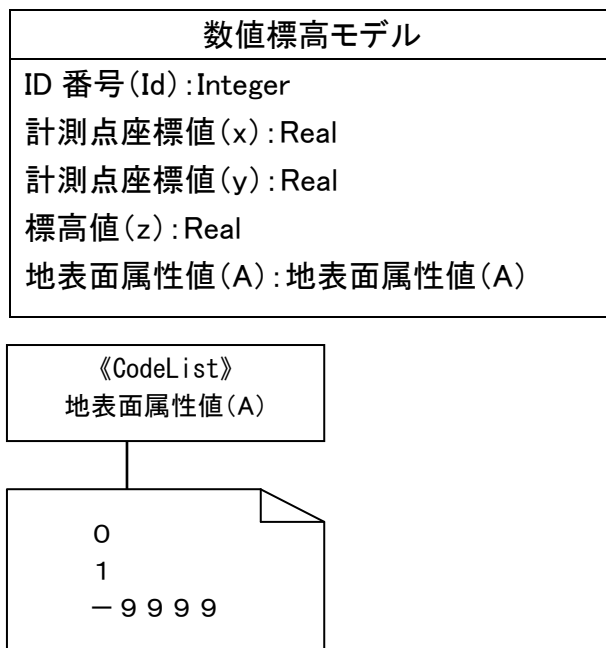
平成 26 年 4 月

国土地理院

データ内容及び構造

応用スキーマ UML クラス図

数値標高モデル応用スキーマクラス図



応用スキーマ文書

数値標高モデル

定義

航空レーザ測量により作成されたグリッドデータ。

属性

ID 番号 (Id) : Integer

ファイル内でユニークな一連番号。

<取得基準>

データ取得範囲の左上の点を始点、右下の点を終点とし、行、列の順に昇順になるようにソートする。

<定義域>

始点の値は 1 とし、1,2,3…の順に取得する。

計測点座標値 (x) : Real

座標系原点において子午線（南北方向）に一致する軸とし、真北に向う値を正（+）とする。

<取得基準>

原点からの距離をm単位で表記。0.1m単位とする。

<定義域>

-20000000.0～20000000.0

計測点座標値 (y) : Real

座標系原点において座標系のX軸に直交する軸とし、真東に向う値を正（+）とする。

<取得基準>

原点からの距離をm単位で表記。0.1m単位とする。

<定義域>

-130000.0～130000.0

標高値 (z) : Real

グラウンドデータから内挿補間により格子状の標高データを作成する。規定した基準面からの高さを標高値とする。

<取得基準>

m単位で表記。0.1m単位とする。

<定義域>

-50.0～4000.0

関連役割

地表面属性値 (A)

定義

地表面属性の種類。

コードリスト値

0 : 格子間隔内にグラウンドデータが存在しない場合

1 : 格子間隔内にグラウンドデータが存在する場合

-9999 : 水部の場合

- ・水部（-9999）は、航空レーザ用写真地図データを背景に作成した水部ポリゴンと重なるグリッドデータをプログラムにより抽出し取得する。
- ・グラウンドデータの有無（0,1）は、プログラムで存在状況を計算し取得する。

数値標高モデル (*****_xg.txt)
Id ₁ , x ₁ , y ₁ , z ₁ , A ₁
Id ₂ , x ₂ , y ₂ , z ₂ , A ₂
:
Id _n , x _n , y _n , z _n , A _n

ファイル名:***_xg**

- 国土基本図図郭単位で数値標高モデルを作成する場合、*****には、国土基本図図郭名を入力する。
- xには、メッシュサイズを入力する（メッシュサイズが1mの場合：*****_1g.txt）
- ファイル名には半角英数字を使用し、英字は小文字とする。

ファイル構造：Id_n, x_n, y_n, z_n, A_n

- Id_n：ID 番号 (Id)
- x_n：計測点座標値 (x)
- y_n：計測点座標値 (y)
- z_n：標高値 (z)
- A_n：地表面属性値 (A)